

ななお 会議所 だより

2024 12 No.645

<https://nanao-cci.or.jp>
mail:office@nanao-cci.or.jp

七尾商工会議所 検索



七尾商工会議所 検索



CONTENTS

- P1 永年勤続優良従業員表彰式
- P2 第3回能登・七尾未来会議「シンポジウム」/
部会長・委員長合同会議/能登復興応援!「七尾
市自慢の市 いいとこフェア」
- P3 青年部/女性会/青色申告会総会/
石川県青色申告会女性部研修会
- P4 N-As通信 七尾創業アカデミー第6講・第7講・
第8講/環境省アンケートのご案内/
年末年始休館のご案内

令和6年度永年勤続優良従業員表彰式開催 優良従業員142名を表彰 ～長年の貢献たたえる～



表彰式の様子

11月26日(火)、当所にて永年勤続優良従業員表彰式を開催し、28事業所、142名の表彰を行いました。

同事業は、会員企業・団体で業績向上に貢献した従業員の労に報いるとともに、一層の士気向上と組織活性化を図る目的で行われています。

始めに、杉野会頭が式辞を述べ、長年にわたる真摯な努力、そして、社業発展への大いなる貢献に敬意を表し「元日に発生した能登半島地震、また9月21日に発生した奥能登豪雨による被害は経済・社会活動の様々な場面に深刻な影響をもたらしています。また、エネルギー・資源価格の高騰への対応や少子高齢化、人手不足など地域を取り巻く課題は多く、課題解決に向けスピード感を持って対応していくことが必要です。従来に増して会員事業所の皆様に寄り添った支援を通じて、個々の事業者の経営力を底上げし、収益改善と所得拡大を進めてまいります」と述べました。



杉野会頭挨拶の様子

続けて、勤続30年以上、25年以上、20年以上、15年以上の受賞者142名に賞状と記念品が授与されました。

ご来賓として、馳石川県知事(代理:小林俊広商工労働部次長)、茶谷義隆七尾市長(代理:松崎健産業部長)、和田内幸三石川県議会議員、清水真一路石川県議会議員にご祝辞を頂き、近藤和也衆議院議員(代理:近藤弥子秘書)、西田昭二衆議院議員(代理:谷内彪流秘書)にご臨席を頂きました。



謝辞を述べるのと共栄信用金庫
山加勇人氏

その後、受賞者を代表して山加勇人さん(のと共栄信用金庫)が「今後も地域の発展のために努力していきます」と謝辞を述べ、式典を締めくくりました。

第3回能登・七尾未来会議「シンポジウム」の開催

11月15日(金)、『震災を機に新しい能登・七尾をつくるには』をテーマに、シンポジウムが開催されました。パネリストとして、石川県副知事 浅野大介氏、宮城県女川町からVETUREFOR JAPANの小松洋介氏、地元経営者として、和倉温泉多田屋代表取締役 多田健太郎氏、七尾自動車学校代表取締役 森山明能氏、コーディネーターに(株)イーゼログループ創発推進本部長の松崎光弘氏を迎え、会員事業所等約60名が参加しました。

冒頭、小川専務理事が「震災後、能登、その中心である七尾の復興について、特に商工業の復興について、参加していただいた皆様のご意見をいただき、商



コーディネーター松崎氏

工会議所としての復興指針を創っていききたい」と挨拶しました。

シンポジウムでは、パネリストの皆様からこれまで

に手がけてこられた事業、取り組みについての説明をいただき、その後出席者からの質問を受けてのディスカッションが



シンポジウムの様子

行われました。参加者からは、「パネリストの話に勇気づけられた、復興へのヒントとなる話が聞けて良かった」との感想が聞かれました。

～「新しい能登・七尾」をつくっていくためには～

- ①外部からの提案や支援を受け入れ、自分たちのものとして活用するために、企業や地域の「受援力」を高める。
- ②挑戦が起こりやすくするために、若者や外部人材が意見を述べやすい環境を整える。
- ③これまで能登・七尾が大切にしてきた考えを伝えつつ、常に新しいプレイヤーが育つための関係性を築く。
- ④①～③のために、地域内外をつなぎ、情報を共有し、挑戦者に伴走するコーディネーターの存在が不可欠である。

部会長・委員長合同会議の開催 ～能登・七尾地域経済復興指針を検討～

11月29日(金)、能登・七尾地域経済復興指針を策定する、各部会長・委員長合同会議を開催しました。

経済団体として七尾商工会議所が立案する『能登・七尾地域経済復興指針』は、多くの人々との対話によって作り上げられる必要があります。長い復興への道のりを、共に歩むための指針づくりです。

この指針をもとに、会員企業としてできること、商工会議所としてできることを一つずつ繋げ、主体的なアクションにつなげていく必要があります。

合同会議では、各部会長・委員長より、多くのご意見・ご提案をいただきました。

・指針案について、能登の中の七尾の立ち位置が不足

しているのではないかと。今だから、こうしなければならない、新しいビジネスと地域経済のあり方を示す、というところをしっかりと指針に盛り込むべきではないかと。

- ・まずは、小さな個人事業の商店を再開することが、七尾を明るく元気にする。そのための支援を担うのが商工会議所の務めではないかと。
- ・なによりもまずは、自社が復旧・復興しなければ、他を助けられない。能登の商工会議所が連携し、能登の復興に係るプロジェクトも考えてはどうか。今後、検討を重ね、12月中旬に七尾市に復興指針を提出する予定です。

能登復興応援！「七尾市自慢の市 いいところフェア」 (さいたま市にて七尾の特産品を販売)

七尾特産品協会(笹本和茂会長)では、11月14日(木)～11月17日(日)に、さいたま市のまるまるひがしにほん(東日本連携センター)にて開催された『能登復興応援！「七尾市自慢の市いいところフェア」』に、特産の“能登なまご”を使った商品や“能登ふぐ”の削り節、日本三大魚醤のひとつ“いしり”、能登大納言小豆を使用した羊羹や能登七尾名物の大豆飴(まめあめ)のほか、能登野菜・中島菜を使用した商品や、能登・加賀のご当地おでん等を販売しました。多くのさいたま市民の皆様に応援のお声をいただき、4日間を

通して、石川県七尾市の食をお届けすることが出来ました。清水勇人さいたま市長も、復興イベントに訪れ、温かい応援のお言葉をいただきました。



能登復興応援イベントの様子

青年部

全国会長研修会に参加 11月定例会開催

11月16日(土)、日本商工会議所青年部主催の第42回全国会長研修会が福島県郡山市で開催されました。テーマを『未来開拓 ～全てのYEGが変革の道標となり、地域の未来を切り拓く～』として、東日本大震災の経験を踏まえたリーダーシップの研修や次年度会長・事務局向けのセッションを通じ、地域経済を担う人材育成を目指すものです。郡山の歴史と開拓者精神を背景に、参加者が持続可能な社会の実現に向けて行動するための知見を深める機会となりました。

11月29日(金)、七尾商工会議所青年部は同友会青年部との初の合同定例会として経営者同士の対談やグループ討論を実施し、地域社会への貢献や企業成長に向けた意見交換が行われました。懇親会では名刺交換を通じた交流を深め、活発な意見が飛び交いました。参加者からは「経営理念を再確認し、復興への具体的な行動の意義を実感した」との声が多く寄せられ、今後の地域活性化への期待が高まりました。



同友会との定例会の様子

女性会

第56回全国商工会議所女性会連合会滋賀全国大会

11月7日(木)・8日(金)、全国大会が大津市で開催され、当会からは沢野会長、木下特別顧問を含め10名が参加しました。

大会では滋賀県連合会の畠中笑美子会長、日商の小林健会頭の挨拶や表彰を行った後、珠洲・輪島・七尾女性会会長が登壇して能登半島地震に対する支援へのお礼をお伝えしました。



記念講演会では大本山石山寺座主鷲尾龍華師が「石山寺と紫式部

『源氏物語』と題して講演し、石山寺と平安時代の女性の生活について作品を通して紹介しました。

会場では能登半島地震復興応援特別物産展も開催され、七尾からは(株)加賀屋と事務局が参加し多くの参加者で賑わいました。また、県内女性会と合同バスで紫式部ゆかりの石山寺や、自然を活かした建築で知られるラ コリーナ近江八幡を視察するなど交流を深めました。



復興応援特別物産展の様子

七尾青色申告会及び七尾税務署管内青色申告会連合会が 令和6年度定期総会を開催

10月22日(火)、七尾青色申告会(中越政秀会長)と七尾税務署管内青色申告会連合会(中越政秀会長)は、和倉温泉美湾荘にて、令和6年度総会を開催しました。

中越会長は、七尾青色申告会総会の開会挨拶で、「能登半島地震発災からの復旧・復興にある中で、組織運営を平常の姿に戻すべく、普段の努力を積み重ねていきましょう」と述べました。

議事では、地震被害の影響から令和6年度の会費については、徴収しないことを決議しました。

次に、七尾税務署管内青色申告会連合会総会では、七

尾税務署より高畑登美昭署長、林要和総務課長、森田礼子個人課税第一部門統括国税調査官が臨席しました。

高畑税務署長による『税務行政のデジタル化』と題した講話では、「経済社会のデジタル化・国際化の進展により大きく変化しています。スマートフォンなど、日常使い慣れたデジタルツールから、効率的にデジタル処理できる環境を整備することで、事業者の業務の正確性や生産性の向上を促したい」と説明がありました。

意見交換会では、日頃の税務行政等の意見を交えるなどして有意義に親睦を深めることができました。

石川県青色申告会連合会女性部研修会に参加

10月25日(金)、石川県青色申告会連合会女性部研修会が白山商工会議所にて開催され、七尾青色申告会女性部員8名が参加しました。

冒頭の連合会女性部長の津田氏、松任青色申告会会長の亀田氏の挨拶の後、「今、白山市が熱い!?!～世界ジオパークの登録とトレインパーク白山の開設～」と題された講演会が開かれました。成り立ちや信仰など、白山にまつわる歴史とジオパークについての説明の後、トレインパーク白山について、施設の概要や開設までの流れについての説明を受けました。

研修会後は、トレインパーク白山、白山比咩神社の順に見学を行いました。トレインパーク白山では、実際に北陸新幹線で使われていた貴重な部品等の展示物や、普段なかなか見ることのできない白山総合車両所内の点検・整備の様子を、工場の音や匂いを感じながら見学しました。



講演会の様子

2024年度七尾創業アカデミー 第6・7講、第8講「創業計画発表会」

10月29日(火)、11月12日(火)に七尾創業アカデミー第6講・第7講が開催されました。

松本悠司氏(中小企業診断士)を講師にお迎えし、「創業計画の作成」をテーマに講義が行われました。

第6講では、創業計画の必要性について、創業に至る背景や市場ニーズを分析し、経営コンセプトの設定の重要性を解説していただきました。また、第7講では前回の内容を振り返り、アイデアを具体的に創業計画に反映する方法を説明。収支計画の策定では数字を用いて、売上を成立させる方法や将来のビジョン設定の重要性を解説していただきました。

後半はワークショップ形式で進行し、受講生がカルテットメンバーに個別相談を行いました。これにより、受講生は計画を具体化し、次のステップを見据える機会を得ました。



第6・7講の様子

11月19日(火)、最終回となる第8講では、これまでに学んだ知識をもとに各受講生が作成した創業計画を発表する場として、5名の受講生が挑戦しました。発表者は、10分間のプレゼンテーションを行い

ました。「上質なオーガニックコットン」を使った製品をフェアトレード認証製品として販売し、SDGsのつくる責任・つかう責任などのゴールを目指す事業や、能登の地区では、まだ珍しい「整理収納アドバイザー」、「ドローン」を活用した事業、「発酵食や地元食材を使用したカカオスイーツ」を国内外に販売・発信する事業、「昼はラーメン・午後からは喫茶、夜は居酒屋」という3つの顔をもつ店のOPENをめざしている事業計画など、ユニークな発表が続きました。ななお創業応援カルテットのメンバーから、「価格設定は何を基準にしているのか」などの質疑に的確に回答し、審査員からは、「(事業に対する)熱い思いが伝わった」などの講評をいただきました。

今期は震災があったにもかかわらず16名が参加しました。発表会後は、松本町の「鶏とまつば」で交流会を開催し、PRや創業への熱意などを一人一人発表し、参加者同士の交流を深めました。ななお創業応援カルテットでは引き続き、その後の創業に向けた個別支援を行っていく予定です。



最終講「創業計画発表会」の様子

年末年始休館のご案内

七尾産業福祉センター(七尾商工会議所)は

12月28日(土)～1月5日(日)

まで休館とさせていただきます。よろしくお願いたします。

環境省によるアンケート 能登半島地震による建物の被害状況に関するアンケートにご協力をお願いします

環境省では、2024年1月に発生した能登半島地震における被害をふまえ、建物(住宅以外の用途の建物)の所有者の皆様、所有施設の脱炭素化(省エネ化、再生可能エネルギー活用など)へのアンケート調査を実施することとなりました。脱炭素化に向けた政策検討のため、右のQRコードからご回答いただけますと幸いです。

※アンケートの運営は株式会社三菱総合研究所が行います。

お問い合わせ

環境省 担当: 滝野、伊東、水谷 TEL: 03-5521-8355
株式会社三菱総合研究所 担当: 宮原、長谷川、米田
E-mail: moe_zeb_2024@ml.mri.co.jp



環境省

